

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 20.2.26 第 169 回国会第 3 号

2月26日、第3回の委員会が開かれました。

1 国の安全保障に関する件

- ・石破防衛大臣、中川内閣府副大臣、谷口総務副大臣、小野寺外務副大臣、森山財務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

武田良太君(自民)

- ・海上自衛隊イージス艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事案(以下「衝突事案」という。)の原因を防衛大臣はどのように考えているのか。
- ・事務次官通達においては、重大な事件・事故の報告・連絡は、担当部署が直接、防衛大臣秘書官を通じて防衛大臣に1時間以内を目処に速報すると定められているが、1時間以内という時間設定の妥当性について、防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・衝突事案に対する防衛大臣の責任のとり方としては、引責辞任という安易な決断ではなく、防衛大臣の指揮の下、徹底的な捜索・救助活動を継続することや防衛省改革を断行することにあると考えるが、防衛大臣の見解を伺いたい。

安次富 修君(自民)

- ・在沖米海兵隊員による女子中学生暴行事件を受け、外務省は、2月22日、再発防止策を発表したが、今後どのようにして実効あるものとして具体化していくつもりなのか。
- ・2月27日に来日予定のライス米国务長官との会談において、外務大臣は、米軍兵士による犯罪の再発防止に関する協議を行う必要があるのではないのか。また、同国务長官自身が、女子中学生暴行事件に関し、遺憾の意を表明すべきではないのか。
- ・外務大臣と米国务長官の会談において、普天間飛行場代替施設については議題となるのか。

赤松正雄君(公明)

- ・衝突事案に関し、防衛大臣は、「あたご」側が衝突12分前に「清徳丸」の灯火を視認していたという報告を衝突事案発生当日の2月19日夜に受けていたにもかかわらず、20日夕まで公表しなかったとの報道について、事実関係及びその経過について、説明されたい。

- ・防衛省をめぐる様々な不祥事について、防衛大臣は「偶発的だと思っていない」と発言をしているが、防衛大臣がこのような発言をすることは、自衛隊員の士気や防衛省・自衛隊に対する国民の信頼を損なうのではないのか。
- ・今回の衝突事案のような自衛隊の事件・事故に限定した場合、自衛官の国会出席を要請する必要があると思うが、防衛大臣の見解を伺いたい。

渡辺 周君(民主)

- ・「清徳丸」の視認は衝突の12分前だったとの情報について、20日朝に確認できたとの報告が防衛大臣にあったにもかかわらず、同日夕からの自民党国防部会で説明するまで公表しなかった理由は何か。
- ・防衛省の報償費に係る裏金問題に関し、昨年12月の調査開始から現在まで2か月以上経過しているにもかかわらず、防衛省当局が調査中として、具体的な進捗状況等について説明できないことについて、防衛大臣はどのように考えているのか。
- ・平成9年度から平成17年度までの防衛省報償費の決算額がすべて同額であることについて、防衛大臣はどのように考えるのか。

馬淵澄夫君(民主)

- ・防衛大臣の衝突事案に関する情報公表の方針について、「確認中であっても注釈付きで公表する」から「未確認なものは公表しない」と変わったのはなぜか。
- ・衝突事案の第一報が遅れた原因に防衛省内のいわゆる「背広組」と「制服組」の軋轢が関係しているとの見解について、防衛大臣はどのように認識しているか。
- ・防衛参事官制度を含む防衛省改革については、強いリーダーシップが必要と考えるが、防衛大臣はどのような決意で取り組むつもりか。

津 村 啓 介君（民主）

- ・防衛大臣は、「あたご」艦長の行動は適切であったと考えるのか、また、何らかの処分をするつもりはあるのか。「あたご」側が「清徳丸」を視認する以前に「清徳丸」をレーダーで探知していた可能性についての防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・在日米軍再編により、日米共同訓練の開催地が多様化しているが、その周辺住民の理解を得るため、丁寧な説明をしていく必要性について、防衛大臣はどのように認識しているか。
- ・日韓首脳会談において、日韓シャトル外交の再開が合意されたが、その開催地の選定基準等はどうなるのか。

神 風 英 男君（民主）

- ・防衛省における秘密指定を一定期間経過後は、自動的に解除されるようにすべきと思うが、防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・防衛省において、秘匿すべき情報と公開すべき情報の判別が適切に行われていないことが、情報流出事案などの原因にあるのではないのかと思うが、防衛大臣の認識を伺いたい。
- ・「清徳丸」の灯火の視認は衝突の12分前だったとの新たな情報を内閣総理大臣に速やかに報告しなかった理由を防衛大臣に伺いたい。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・衝突事案について、海上保安庁の捜索救助活動及び捜査の状況はどのようになっているのか。
- ・防衛省は、衝突事案が発生した時刻や正確な位置、衝突時点での「あたご」の速度についての情報を、どのようにして入手したのか。
- ・防衛省は、「あたご」の航行状況についての客観的な記録を、国会に提出すべきではないのか。

辻 元 清 美君（社民）

- ・防衛大臣が19日夕の自民党国防部会で衝突事案に関する説明を行うよりも前に、防衛省が、衝突の12分前に「清徳丸」の灯火を視認していたらしいとの新たな情報を得ていたにもかかわらず、部会終了後まで防衛大臣に報告しなかったことについて、防衛大臣はどのように考えているのか。
- ・防衛大臣が新たな情報「12分前」について説明した20日夕の自民党国防部会とほぼ同時刻に行われた防衛省報道官の記者会見において、新たな情報について言及せず、従前どおりの説明「2分前」を行っているが、この記者会見について、防衛大臣はどのような認識を持っていたのか。
- ・情報開示について、防衛省・自衛隊の各組織がそれぞれ行う体制となっていて、責任の所在が明らかでないとするれば、防衛省・自衛隊が機能不全を起こしていると考えられるが、防衛大臣はどのように認識しているのか。

下 地 幹 郎君（国民）

- ・衝突事案の再発防止の観点から、自衛隊艦船における衝突防止装置の設定状況等の確認並びに艦長が艦橋に居る必要がある場合の基準及び自動操舵装置使用についての基準の策定が必要と思うが、防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・沖縄の旧軍飛行場用地問題についての政府における対応窓口が、内閣府であることを確認したい。
- ・在日米軍に勤務する日本人警備員が職務上所持っている拳銃を携帯して施設・区域外に出ることは日米地位協定や関係取極などで、認められているのか。